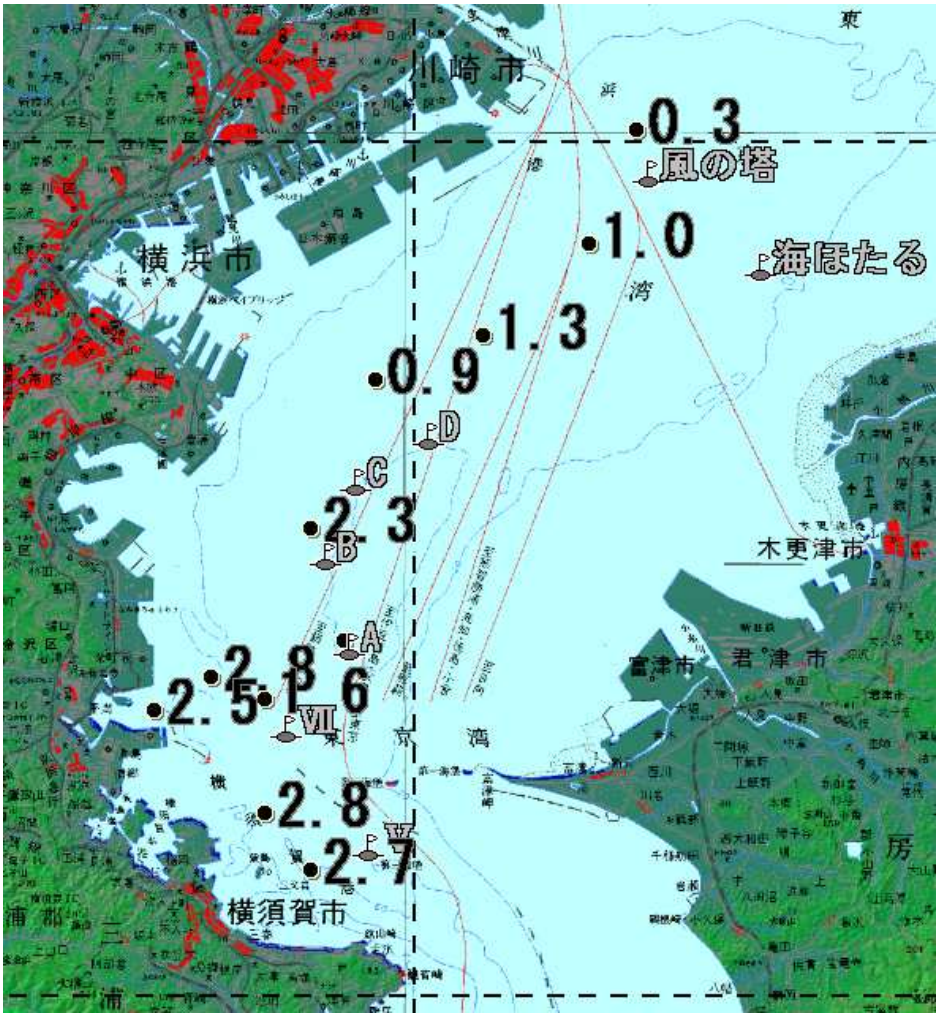
南部海域まで溶存酸素量が低下しています。

東京湾溶存酸素情報

神奈川県水産技術センター
2009/08/19

神奈川県あなご漁業者協議会が**横浜市漁協柴支所**の
小政丸により東京湾調査を実施しました。

○水温は、表層で 26～28℃台、底層では 17～19℃台です。
○外洋からの高塩分水はほとんどみられません。
○測定値を見る限り、赤潮は発生していない模様です。
○７番ブイの北まで貧酸素水塊（≦2.5ml/l）が拡がっています。
○風の塔の北ではきわめて酸素量が低くなっています。



底層の溶存酸素量(ml/l)

発行　神奈川県水産技術センター
資源環境部
電話 046(882)2313

上下の水温差や貧酸素水塊があります。
八景島脇のアナゴ活け場付近でも深いところでは酸素量が低めです。
引き続き、漁獲物の取り扱いにご注意ください。